

『顔魯公文集』内容一覧稿

宮崎 洋一

はじめに

唐の顔真卿を検討する際の基本資料の一つが『顔魯公文集』であることは言うまでもないが、現在一般に用いられている『四部叢刊』所収本と『四部備要』所収本との間には多くの違いがあるにもかかわらず、全面的に検討されたことはこれまでなかった。本稿は、現在一般に用いられている『顔魯公文集』の主な諸本に収められている、顔真卿自身によって書かれた詩文を整理し、顔真卿研究の一助としようとするものである。

一 『顔魯公文集』の成立と現存諸本の整理

『顔魯公文集』の内容整理に先立って、まずその成立と現存する諸本の状況について一瞥しておきたい¹⁾。

顔真卿の墓誌銘である令狐峘「顔魯公神道碑銘」（『四部叢刊』本『顔魯公文集』附録）には、顔真卿の詩文集として、『廬陵集』10巻・『臨川集』10巻・『呉興集』10巻・『礼儀集』10巻の4種が著録されているけれども、いずれも北宋にはすでに散佚していたらしい。そこで、北宋・劉敞（字は原父、1019～1068年）の「顔魯公文集序」（『公是集』巻34および『四部叢刊』本『顔魯公文集』巻首）に、

呉興沈侯、哀魯公之忠、而又佳其文。懼久而不伝与雖伝而不広也、於是採掇遺逸、輯而編之、得詩賦銘記凡若干篇、為十五卷。学者可觀焉。

〈呉興の沈侯は、魯公の忠を哀れみ、またその文をこのんだ。時がたって伝わら

なくなるのと伝わっても広まらないのを懼れて、そこで残された詩文を採って編集し、詩・賦・銘・記あわせて若干篇を得て十五卷とした。学ぶものはまず見るべきである。>

とあるように、北宋の半ばに「呉興の沈氏」が、その時に残っていた顔真卿の詩文を編集して『顔魯公文集』15卷を作った。また、北宋・江休復『嘉祐雜誌』には、

宋次道集顔魯公文十五卷、詩才十八種、多是湖州宴会聯句詩、公必在其間。

<宋敏求（字は次道、1019～1079年）が顔真卿の文十五卷を集めたが、詩はわずかに十八種で、多くは湖州での宴会の際の聯句詩であり、必ずや顔真卿がそこにいた時のものであろう。>

とあって、「呉興の沈氏」のものとは別に、宋敏求が編集した『顔魯公文集』15卷が存在した。そして、南宋・留元剛の「顔魯公文集後序」（『四部叢刊』本『顔魯公文集』末）に、

予後公三百九十四年而生、又三十五年而守東嘉。……求公文而刊之、將以砥礪生民、而家無藏本。得劉原父所序十二卷、即嘉祐中宋次道集其刻於金石者也。篇簡漫漶、字義舛譌、乃以史伝・諸書・碑蹟・雜記、詮次年譜、繫以見聞、參異訂疑、搜亡補失。其涉於公之筆、而無考則不敢及焉。故書遺亡、網羅未備、尚俟後人。

<予は公ののち三百九十四年にして生まれ、また三十五年にして東嘉の守となった。……公の文を求めてそれを刊行し、人々に学ばせようとしたが、家には蔵する本が無かった。（のちに）劉敞が序を書いた十二卷を手に入れた。即ち嘉祐年間（1056～1063年）に宋敏求が金石に刻されている詩文を集めたものである。篇簡は壊れているし、字義も間違っていたので、史伝・諸書・碑蹟・雜記によって、年譜をつくり、さらに見聞したことを補い、異同を正し疑義を訂正し、逸文を探し補った。公の書については、根拠がなければ敢えて収めなかった。故に書については忘れられているものや、網羅が十分でないものがあるので、後人の補訂を俟つ。>

とあるように、宋敏求が編集した『顔魯公文集』15卷のうち、この時に残っていた12卷を留元剛が補訂・編集した。ただ、なぜ北宋のほぼ同時期に同じ15卷の『顔魯公文集』が「呉興の沈氏」と宋敏求の二人によって作られたの

か、また、なぜ「呉興の沈氏」が編集した『顔魯公文集』に付けられていたはずの劉敞の序が、宋敏求が編集した『顔魯公文集』に付いていたのか、などについては全く不明である。

明代以降の状況については、『四庫全書総目提要』巻149「顔魯公集十五巻補遺一卷年譜一卷付録一卷」に、

沿及明代、留本亦不甚伝。今世所行、乃万曆中真卿裔孫允祚所刊。脱漏舛錯、尽失其旧。独此本為錫山安国所刻。雖已分十五巻、然猶元剛原本也。

〈明代になると、留元剛の本もまたほとんど伝わらなくなった。今、世の中で用いられているのは、万曆年間（1573～1620年）に、顔真卿の子孫の顔胤祚が刊行した本である。脱漏や舛錯があって、まったく原形を失っている。わずかにこの本は錫山の安国が刊行したもので、すでに十五巻に分かたれてはいるが、それでも留元剛の原本である。〉

とあり、この留元剛が編集した『顔魯公文集』もまたほとんど伝わらなくなり、明の顔胤祚が刊行した『顔魯公文集』が多く用いられているが脱漏や舛錯があったこと、『四庫全書』にも収められた安国刻本の祖本が留元剛が編集した12巻の『顔魯公文集』であること、などが記されている。

では、現存する『顔魯公文集』の諸本はこのほかにどれ程あるのであろうか。

中国の公的機関に蔵される版本・抄本については、特に善本については『中国古籍善本書目』²⁾が、叢書については『中国叢書綜録』³⁾および『中国叢書広録』⁴⁾が、それぞれ最も大きな目録であろう。あくまでそうした目録に記された書名と巻数からの整理ではあるが、現存する『顔魯公文集』の諸本を大まかに分類するならば、以下のようなになる。

①顔魯公文集十五巻補遺一卷年譜一卷附録一卷

明嘉靖2年（1523）錫山安国安氏館刻本⁵⁾

〈『四部叢刊』民国8年（1919）初次影印本、民国18年（1929）二次印本、民国25年（1935）縮印本〉⁶⁾

明嘉靖錫山安国安氏館銅活字印本⁷⁾

明萬曆17年（1589）劉思誠刻本⁸⁾

清『四庫全書』所収本（書名「顔魯公集」、16巻）⁹⁾

清嘉慶7年（1802）顔崇棨刻本¹⁰⁾

明抄本¹¹⁾

清抄本¹²⁾

書名が「顔魯公文集」で15巻、さらに補遺・年譜・附録が各1巻ついているもので、現存する最も古い版本。この系統の版本・抄本はのちに数種が作られているが、現在ではそのいずれもが貴重な善本となっている。ただ、のちに『四部叢刊』に収められたので、現在、この影印本によって参照するのは容易である。また、この中で『四庫全書』本のみは書名が「顔魯公集」で、16巻である。巻1～15は明の安国刊本と全く同じで、最後の巻16が安国刊本の「補遺」に当たるが、後述するように、安国刊本の「補遺」に比べると、数種の詩文の増補がある。

②魯公文集十五巻

明萬曆24年（1596）顔胤祚刻本¹³⁾

未見。巻数は①と同じ15巻だが、補遺・年譜・附録はなく、書名も「魯公文集」となっている。前掲の『四庫全書総目提要』によれば、清代前期までは最も流布していた版本のようであるが、現在では原本を参照するのは容易ではない。しかし、深谷周道氏による訳注¹⁴⁾はこの版本からの抄本によっており、この版本の輪郭を知ることが出来る。

③顔魯公文集二十巻補遺一卷年譜一卷附録一卷

明萬曆36年（1608）顔欲章輯刻本（単行本及び『顔氏伝書八種』所収本）¹⁵⁾

未見。これも非常に古い版本で、①と同じく、書名は「顔魯公文集」で補遺・年譜・附録各1巻がついているが、巻数はこの本のみが20巻であるのが大きな特徴である。

④文忠集十六巻拾遺四巻（『武英殿聚珍版書』所収）¹⁶⁾

清乾隆中武英殿木活字排印本（拾遺なし）

清乾隆42年（1777）福建刊道光同治逋修光緒21年（1885）増刊本

清光緒25年（1899）広雅書局本

〈『叢書集成初編』、民国24～26年（1935～1937）排印本〉¹⁷⁾

この本だけは書名が「文忠集」となっているが、理由は不明。巻数は16巻で、その巻16が「補遺」となっているのは①の中の『四庫全書』本と同じであるが、その「補遺」の内容は、①の中の安国刊本とも『四庫全書』本とも異なっている。また、後の再刊本には拾遺4巻が増補されているが、これは⑥の版本からの増補である。再刊本や排印本が多く出されており、それらによるならば参照は容易である。

⑤顔魯公文集十四卷（『乾坤正氣集』所収）¹⁸⁾

道光28年（1848）涇県潘氏袁江節署刊同治5年（1866）新建吳坤修皖江印本

未見。書名は①と同じ「顔魯公文集」だが、巻数は14巻で、また補遺・年譜・附録はない。

⑥顔魯公文集三十巻補遺一卷（『三長物齋叢書』所収）¹⁹⁾

清道光25年（1845）湘陰蔣瓌刊光緒4年（1878）古香書屋印本

〈『四部備要』、民国25年（1936）上海中華書局排印本・縮印本〉²⁰⁾

清末の黄本驥によって編集され、『三長物齋叢書』に収められた本。書名は他と同じ「顔魯公文集」だが、巻数は30巻補遺1巻となっていて、他の本と全く異なる。その内容は、大きく、顔真卿自身が書いた詩文を集めた部分（巻1～12）、顔真卿以外の人物によって書かれた顔真卿に関する詩文を集めた「外集」（巻13～20）、そして顔真卿の書作品に関する史料を作品ごとに整理した「書評」（巻21～30）に分けられ、いずれも極めて多くの資料を収集している。『三長物齋叢書』自体も比較的流布しており、また『四部備要』にも収められているので参照は容易であるし、さらに近年、凌家民氏による点校本²¹⁾も出版された。

善本でない、いわば「普通古籍」の単行本については総合的な目録がないので、単行本として作られた「普通古籍」の『顔魯公文集』については十分

に知ることは出来ないけれども、「普通古籍」の単行本全体の概況については、日本の各機関ごとに作られた漢籍目録を調査することによって、ある程度把握できる。日本の各機関の漢籍目録は、漢籍を「善本」と「普通古籍」とに区別していないからである。

しかし、今回、筆者が調査した限りでは²²⁾、上記の善本・叢書およびその抄本（江戸期の抄本を含む）以外の単行本の『顔魯公文集』を見出すことはできなかった。さらに和刻本もないようである²³⁾し、またこれまでに言及されたこともないので、おそらく上記以外の『顔魯公文集』の刊本は無いのではないかと思われる。

二 『顔魯公文集』の内容一覧

さて、上記の諸本の中で、このたび実際に参照し得た、

- ①顔魯公文集十五卷補遺一卷年譜一卷附録一卷
- ②魯公文集十五卷
- ④文忠集十六卷拾遺四卷
- ⑥顔魯公文集三十卷補遺一卷

の4種の『顔魯公文集』に収められた顔真卿の詩文を整理して一覧表にしたのが〈表1〉である。表中の記載方法は以下の通りである。

「四叢」

- ① 顔魯公文集十五卷補遺一卷年譜一卷附録一卷。『四部叢刊』に影印された、明嘉靖2年（1523）錫山安国安氏館刻本で、記載は「巻数－丁数・表裏」、「*」は補遺。「庫」は『四庫全書』本の巻16「補遺」にしか載せられていない詩文で、数字は巻16内の「丁数・表裏」、「#」は詩文が一部分であることを示す。

「深谷」

- ② 魯公文集十五卷。深谷周道氏によって訳注された、明萬曆24年（1596）顔胤祚刻本で、記載は訳注本の「巻数／通しページ数」。

「聚珍」

- ④ 文忠集十六卷拾遺四卷。『叢書集成新編』に影印された排印本で、そのもとは『武英殿聚珍版書』の清光緒25年（1899）広雅書局本。記載は「巻数／通しページ数」、「#」は詩文が一部分であることを示す。「*」は拾遺。

「四備」

- ⑥ 顔魯公文集三十卷補遺一卷。『四部備要』所収の『三長物齋叢書』清道光25年（1845）湘陰蔣瓌刊光緒4年（1878）古香書屋印本。記載は「巻数－丁数・表裏」、「*」は補遺。

「点校」

凌家民氏による、上記⑥顔魯公文集三十卷補遺一卷に対する点校本。記載は「通しページ数」。

このほかに、

『全唐詩』巻152～153「顔真卿」〈康熙45年（1706）完成〉

『全唐文』巻336～344「顔真卿」〈嘉慶19年（1814）完成〉

『唐文拾遺』巻19～20「顔真卿」〈光緒14年（1888）刊〉

『全唐文新編』第6冊（巻366～344）「顔真卿」²⁴⁾

の四種に収められた顔真卿の詩文と、顔真卿の詩文の内容を一つ一つ簡潔に紹介した、

『顔真卿志』第3編「著作」（161～193頁）²⁵⁾

の内容をあわせて整理した。その記載方法は以下の通りである。

「全唐」

記載は『唐代の詩編』・『唐代の散文作品』²⁶⁾の通し番号による。番号の前に「－」を付したものが『全唐詩』、無印が『全唐文』、「*」が『唐文拾遺』である。「新」とあるものは『全唐文新編』で新たに増補された文で、数字はそのページ数。さらに「<」が付されている詩文は、別の人物の詩文として収められていることを示す。

「顔志」

『顔真卿志』のページ数。

また、表中の顔真卿自身の詩文は、まず『三長物齋叢書』所収の『顔魯公文集』が用いる以下の28の「分類」、

賦・表・奏・疏・状・議・儀注・判・牒・書・帖・序・記・述・贊・頌・
弁・題名・碑銘・神道碑銘・表墓碑銘・墓誌銘・墓碣銘・祭文・殘碑・
逸文存目・古近体詩・逸詩存目

によって大別し、さらに各分類の中は、最も古い版本である、明の安国刻本（『四部叢刊』影印本）に収められている詩・文から順に整理した。「年代」は、その詩文が作られた年代（西暦）で、「—」は年代に幅のあることを示す。

この整理から明らかになることは、以下のようなものである。

- (1) 「四叢」「深谷」「聚珍」の3種については、書名の違い（『顔魯公文集』『魯公文集』『文忠集』など）や詩文の分類順の違いが存在し、さらに個々の詩文の題・内容・文字などに関しては、深谷氏も指摘するように多くの違いが存在する。しかし、収められている詩文全体について言うならば、この3種の文集には大きな違いはないと言えるであろう。すでに「四叢」に収められている詩文の中で、

遷献懿二祖及禘祫議

奉使蔡州書（奉命／蔡州帖）

干禄字書序

湖州石柱記

金紫光禄大夫守太子太傅兼宗正卿贈司空上柱国隴西郡開国公李公神道
碑銘

の5種の文の収載に異同があるが、しかし、このうち

遷献懿二祖及禘祫議

干禄字書序

湖州石柱記

については、顔真卿自身の詩文として『顔魯公文集』に収めるべきでない

とする考え方もあるので、厳密な意味での異同は、

奉使蔡州書（奉命／蔡州帖）

金紫光禄大夫守太子太傅兼宗正卿贈司空上柱国隴西郡開国公李公神道
碑銘

の僅か2種である。

- (2) (1)で指摘した3種の文集のうち、特に「四叢」の『四庫全書』本と「聚珍」の、それぞれの巻16「補遺」については、「四叢」の明・安国刻本の「補遺」を上回る増補がある。その内容を見ると、まず『四庫全書』と「聚珍」で共通して増補されている以下の詩文

家廟碑後記

家廟碑額陰記

唐故太尉広平文貞公宋公神道碑側記

唐故通議大夫行薛王友柱国贈秘書少監国子祭酒太子少保顔君碑銘

和政公主神道碑

朝議大夫守華州刺史上柱国贈秘書監顔君神道碑銘

竹山聯句題潘氏書堂

詠陶淵明

の8種と、この他に、『四庫全書』でのみ増補された以下の詩文

周太師蜀国公尉遲公廟碑銘

杭州錢塘県丞殷府君夫人顔君神道碣銘

の2種があって、『四庫全書』の増補の方がより増補が充実している。ただ、ほぼ同じ時期に、ともに内府で作られた『四庫全書』と「聚珍」の増補に、なぜこのような違いがあるかについては不明である。

- (3) 『全唐詩』において新たに増補された詩が、

水亭詠風聯句

溪館聽蟬聯句

の2種であるのに対して、『全唐文』で全く新たに増補された文が、

象魏賦

請除禪服奏

請除素練聽政奏

駁吏部尚書韋陟諡忠孝議

對三命判

按楊志堅妻求別適判

劉中使（近聞／瀛州）帖

世系譜序

送福建觀察使高寬仁序

汎愛寺重修記

左納言史務滋像贊

永字八法頌

蒲塘弁

華蓋山王郭二真君壇碑銘

晉侍中右光祿大夫本州大中正西平靖侯顏公大宗碑銘

秘書省著作郎夔州都督長史上護軍顏公神道碑

攝常山太守衛尉卿兼御史中丞贈太子太保諡忠節京兆顏公神道碑銘

正議大夫行國子司業上柱國金鄉縣開國男顏府君神道碑銘

朝議大夫行江陵少尹兼侍御史荊南行軍司馬上柱國顏君神道碑銘

左衛率府兵曹參軍賜紫金魚帶顏君神道碑銘

橫山廟碑

の21種あり、この他に、すでに『四庫全書』本などで増補されてはいたが
残欠の多かった文章で、『全唐文』ではより整った文章が収集されている
ものが

和政公主神道碑

朝議大夫守華州刺史上柱國贈秘書監顏君神道碑銘

杭州錢塘縣丞殷府君夫人顏君神道碣銘

の3種ある。このことは、特に、顏真卿自身の文章については、『全唐文』
がそれまでの3種の文集を大きく凌駕する内容を持っていることを示して

いる。出典が記されていないという欠点は確かに存在するけれども、顔真卿の詩文の収集においては、『全唐詩』と『全唐文』、特に『全唐文』の功績を忘れることは出来ない。そして、『全唐詩』よりも『全唐文』による増補がはるかに多いのは、おそらくその間に編纂された『四庫全書』の影響も大きいであろう。

(4) 「四備」で新たに増補された詩文は、

請定武成廟積奠奏

更定昏礼奏

元陵儀注

訪求清河行人李華牒

与李太保帖 (⑨鹿脯後帖「惠及鹿脯甚慰」)

与盧倉曹帖 (②叙本(盧八)帖／③送書帖)

一行(一得／江淮)帖

南来帖

江外(湖州)帖

草篆帖

断句

の11種で、さきの『全唐文』をさらに上回る多くの詩文の増補があり、顔真卿の詩文の収集、ひいては『顔魯公文集』の編集における「四備」の功績は非常に大きい。本稿では考察の対象とはしていないが、「四備」には、さらに顔真卿以外の人物による顔真卿自身に関する詩文を集めた「外集」(巻13～20)や、顔真卿の書作品に関する史料を作品ごとに整理した「書評」(巻21～30)が付けられ、いずれも極めて多くの史料、中には現在でも容易に見ることのできない珍しい史料が収集されている。編集者の黄本驥自身も、「四備」の巻19に収められた「顔魯公著作考」「顔魯公著韻海鏡源始末考」「顔魯公湖州賓客考」「顔魯公生卒葬地考」「顔魯公祠廟考」のほか、『顔書編年録』4巻を著しており、顔真卿に関する最初に現れた重要な研究者であるということが出来る。

(5) 「点校」における増補は、

武成王廟用樂奏

元陵每日供羊奏

柳宗元永字八法頌

の3種。このうち全く新たな増補は「柳宗元永字八法頌」の1種であり、残りはより良い文章の提示である。ただ、前述のように、「四備」が顔真卿研究において特に重要な版本であるから、この本の点校本にも重要な意義がある。しかも、「四備」に収められていない詩文を収集し得ており、また巻1～12の顔真卿自身の詩文には詳細な注も付けられている。

三 『顔魯公文集』の普及について

ここで、改めて『全唐詩』『全唐文』を含めた上記の版本を刊行年代の順にならべ換え、あわせて『中国古籍善本書目』（以下「善本」）と『中国叢書綜録』（以下「綜録」）とに記された中国の所蔵機関数を記すならば以下のようになる（年代不明の2種の抄本は除く）。

明嘉靖2年（1523）錫山安国安氏館刻本	（善本、5機関）
明嘉靖錫山安国安氏館銅活字印本	（善本、3機関）
明萬曆17年（1589）劉思誠刻本	（善本、11機関）
明萬曆24年（1596）顔胤祚刻本	（善本、31機関）
明萬曆36年（1608）顔欲章輯刻本	（善本、単行4機関、叢書2機関）
『全唐詩』九百卷、清康熙45年（1706）揚州書局本	（善本、52機関） ²⁷⁾
清『四庫全書』所収本	（善本、3機関）
清乾隆中『武英殿聚珍版書』木活字排印本	（善本、9機関）
清嘉慶7年（1802）顔崇棨刻本	（善本、3機関）
『全唐文』一千卷、清嘉慶19年（1814）内府刻本	（善本、21機関） ²⁸⁾
清道光25年（1845）『三長物齋叢書』本	（綜録、34機関）
清同治5年（1866）『乾坤正氣集』本	（綜録、27機関）
清光緒21年（1885）『武英殿聚珍版書』本	（綜録、29機関）

清光緒25年 (1899) 『武英殿聚珍版書』 本	(綜録、23機関)
民国 8 年 (1919) 『四部叢刊』 初次影印本	(綜録、40機関)
民国18年 (1929) 『四部叢刊』 二次印本	(綜録、16機関)
民国24～26年 (1935～37) 『叢書集成初編』 本	(綜録、34機関)
民国25年 (1935) 『四部叢刊』 縮印本	(綜録、16機関)
民国25年 (1936) 『四部備要』	(綜録、排印45・縮印10機関)

収蔵状況の調査対象となった機関は、『中国叢書綜録』では47機関、『中国古籍善本書目』では786機関であるから、『中国古籍善本書目』に萬曆24年(1596)の顔胤祚刻本が31機関に蔵されていると記されていることと、『中国叢書綜録』に道光25年(1845)の『三長物齋叢書』本が34機関に蔵せられていると記されていることとは、普及度という点からは全く同列には論じられない。言い換えれば、『三長物齋叢書』本がはるかに多く普及しているということである。さらに、先に指摘したように、おそらくこれ以外の「普通古籍」の単行本の『顔魯公文集』が存在しないであろうこと、また『武英殿聚珍版書』は『永樂大典』などの中から特に価値のある史料を抜き出して作られた叢書であること、などを考えあわせれば、清朝の中期までは、『顔魯公文集』は極めて稀見の文集だったのであり、『三長物齋叢書』本の『顔魯公文集』は、収められた顔真卿の詩文の多さと充実という点だけでなく、顔真卿の詩文の普及という点においても、画期的な意味を持っている。そして、この『三長物齋叢書』本の『顔魯公文集』を複製・印刷した『四部備要』は、『顔魯公文集』をさらに広く普及させた点で重要であり、現在では本当に簡単に『三長物齋叢書』本の『顔魯公文集』を利用できる。まさに『三長物齋叢書』本、さらに『四部備要』本の『顔魯公文集』の出現によって、顔真卿研究のための最も重要な基礎が築かれたと言えるであろう。

おわりに

本稿では、『顔魯公文集』の主要な諸本の内容を整理して、清朝中期までの『顔魯公文集』の主な諸本の間では、全体的な内容において大きな違いが

なく、また詩文の収集が必ずしも十分ではなかったこと、そののちの『顔魯公文集』の増補においては特に『全唐文』と『三長物齋叢書』本の『顔魯公文集』が非常に大きな役割を担っていたこと、そして、清朝中期までは『顔魯公文集』は稀見の文集だったのであり、『三長物齋叢書』本の『顔魯公文集』、さらにそれを複製した『四部備要』本の『顔魯公文集』の出版は、顔真卿の詩文の普及という点においても大きな意味を持っていたこと、などを指摘した。

清朝中期までは『顔魯公文集』があまり普及していなかったこと、さらに見ることのできた『顔魯公文集』もその内容が決して充実したものではなかったことは、清朝中期までの人々の顔真卿に対するイメージが、現在我々が見ている『顔魯公文集』に収められた詩文によって普及したのではないことを示している。宋代以降の人々が、唐の顔真卿を何によってどのようにイメージしていたかについては、稿を改めたい。

- 1) 特に『顔魯公文集』の成立については、萬曼『唐集叙録』中華書局、1980年、64～67頁「顔魯公集」の項などを参照した。
- 2) 線装本、上海古籍出版社、1985～96年。なお筆者が用いたのは、上海古籍出版社が1989～98年に洋装本9冊に複印したもの。
- 3) 全3冊、上海古籍出版社、1959～62年。なお筆者が用いたのは上海古籍出版社によって1986年に補訂・縮印されたもの。
- 4) 全2冊、陽海清編撰、湖北人民出版社、1999年。
- 5) 『中国古籍善本書目』「集部」上、no.658～659、及び末尾の「蔵書単位検索表」。
- 6) 『中国叢書綜録』1「総目」285・980頁・2「子目」1221頁。
- 7) 『中国古籍善本書目』「集部」上、no.660～662、及び末尾の「蔵書単位検索表」。
- 8) 『中国古籍善本書目』「集部」上、no.663～665、及び末尾の「蔵書単位検索表」。
- 9) 『中国古籍善本書目』「叢部」no.204～206、及びそれぞれの末尾の「蔵書単位検索表」。『中国叢書綜録』1「総目」79・962頁・2「子目」1221頁。
- 10) 『中国古籍善本書目』「集部」上、no.668～670、及び末尾の「蔵書単位検索表」。
- 11) 『中国古籍善本書目』「集部」上、no.667、及び末尾の「蔵書単位検索表」。
- 12) 『中国古籍善本書目』「集部」上、no.671、及び末尾の「蔵書単位検索表」。
- 13) 『中国古籍善本書目』「集部」上、no.666、及び末尾の「蔵書単位検索表」。
- 14) 『顔真卿』風媒社、1974年。

- 15) 『中国古籍善本書目』「集部」上、no.672、「叢部」no.311、及びそれぞれの末尾の「蔵書単位検索表」。『中国叢書広録』上、241頁。
- 16) 『中国古籍善本書目』「叢部」no.203、及び末尾の「蔵書単位検索表」。『中国叢書綜録』1「総目」128・962頁・2「子目」1221頁。
- 17) 『中国叢書綜録』1「総目」336・984頁・2「子目」1221頁。
- 18) 『中国叢書綜録』1「総目」820・1092頁・2「子目」1221頁。
- 19) 『中国叢書綜録』1「総目」183・968頁・2「子目」1221頁。
- 20) 『中国叢書綜録』1「総目」315・984頁・2「子目」1221頁。なおこの他に、邵懿辰『四庫全書簡明目録標注』巻15（『増訂四庫全書簡明目録標注』上海古籍出版社、1979年、653頁）には、清初顔氏刊本が書かれているが未詳である。
- 21) 『顔魯公集』黒竜江人民出版社、1993年。
- 22) 漢籍目録を調査した機関は以下の通り。京都大学人文科学研究所、東京大学東洋文化研究所、東京大学付属総合図書館、国立国会図書館、東洋文庫、内閣文庫、宮内庁図書寮、静嘉堂文庫、尊経閣文庫、九州大学総合図書館、九州大学文学部、早稲田大学。
- 23) 長澤規矩也『和刻本漢籍分類目録』および同補正、汲古書院、1976・80年、によった。
- 24) 周紹良総主編、全22冊、吉林文史出版社、2000年。
- 25) 《顔真卿志》編纂委員会編、山東人民出版社、1998年。
- 26) とともに平岡武夫編、京都大学人文科学研究所、1964・65年、1960年。
- 27) 『中国古籍善本書目』「集部」中、no.18229～18230、及び末尾の「蔵書単位検索表」。この他に「普通古籍」として、道光10年（1830）彭年刻本、光緒元年（1875）双峰書屋袖珍本、さらに光緒13年（1887）上海同文書局影印本、などがあるが、これらの所蔵機関数などは不明である。
- 28) 『中国古籍善本書目』「集部」中、no.18316、及び末尾の「蔵書単位検索表」。この他に、池田温氏は、淮南書局本、広東刊本があるとする（『アジア歴史事典』第5巻、1960年、293頁「全唐文」の項）が、その刊行年をはじめ所蔵機関など詳細については全く不明である。

(本学助教授)

表 1

分類	詩 文 名	年代	四叢	深谷	聚珍	全唐	四備	点校	顏志
賦	象魏賦	742			*1/*01	07243	01-01a	002	164
表	皇帝即位賀上皇表〈附玄宗批答〉	756	02-01a	02/026	02/007	07244	01-01b	003	164
	讓憲部尚書表〈附肅宗批答〉	757	02-02a	02/032	02/008	07245	01-02a	004	164
	謝兼御史大夫表〈附肅宗批答〉	757	02-04a	02/038	02/009	07246	01-03a	006	165
	同州刺史謝上表〈附肅宗批答・按語〉	758	02-05a	02/041	02/010	07248	01-04a	007	165
	蒲州刺史謝上表〈附肅宗批答〉	758	02-06b	02/044	02/011	07249	01-04b	008	165
	謝浙西節度使表〈附肅宗批答〉	759	02-07b	02/046	02/011	07251	01-05b	009	166
	謝戶部侍郎表〈附代宗批答〉	762	02-08a	02/049	02/012	07252	01-07a	011	166
	謝吏部侍郎表〈附代宗批答〉	763	02-09a	02/052	02/013	07247	01-07a	012	166
	謝荊南節度使表〈附代宗批答〉	763	02-09b	02/054	02/013	07253	01-07b	012	167
	謝贈祖官表〈附肅宗批答〉	758	03-01a	02/055	03/015	07254	01-05a	008	165
	乞御書天下放生池碑額表〈附肅宗批答〉	759	03-02a	02/029	03/016	07250	01-06a	010	166
奏	請除禪服奏	779			*1/*01	07255	02-01a	013	167
	請除素練聽政奏	779			*1/*02	07256	02-01a	013	167
	請定武成廟積奠奏〈附按語〉	782			*1/*02	*21153	02-01b	015	167
	武成王廟用樂奏							016	168
	更定昏禮奏〈附按語〉	780			*1/*02	*21152	02-02a	013	167
	元陵每日供羊奏					*21151		016	168
	請以初諡為定奏					新3857			
	祭陵奏					新3857			
	武成廟祭奏					新3857			
疏	論百官論事疏〈附按語・新唐書本伝所載疏〉	766	01-05b	01/013	01/004	07257	02-02b	017	168
狀	請復七聖諡號狀〈附通鑑大曆十四年七月條〉	779	01-01a	01/003	01/001	07258	02-04b	020	168
	論元皇帝諡狀〈附旧唐書禮志・旧唐書禮樂志條〉	779	01-03a	01/003	01/002	07259	02-06a	022	168
議	廟享議〈附旧唐書禮志・陳京伝・按語〉	781	01-04b	01/020	01/003	07260	02-08b	027	169
	遷獻懿二祖及禘祫議		*01a	01/019		新3856			
	朝会有故去樂議〈附按語〉	781	01-07b	01/023	01/006	07261	02-07b	025	169
	駁吏部尚書韋陟諡忠孝議〈附博士程浩駁議・旧唐書韋安石伝〉	765				*1/*02	07262	02-07a	024
儀注	元陵儀注〈附按語〉	779			*1/*03	*21162	03-01a	029	169
判	對三命判〈附按語〉	736			*2/*23	07263	04-01a	052	169
	按楊志堅妻求別適判〈附范攄按雲溪友議〉	771			*2/*23	07264	04-01a	053	170
牒	訪求清河行人李華牒〈附按語〉	756	<行狀		*2/*23	<10359	04-01b	054	170
書	與郭僕射書	764	11-03a	15/383	11/083	07265	04-02a	054	170
帖	與李太保帖九首	764-							171
	①朝迴(馬病)帖「不審所苦如何」		11-01a	15/377	11/081	07266	04-04a	058	
	②「千手贊檢未得」		11-01a	15/377	11/081 *2/*24	07266	04-04b	058	
	③乞米(借米)帖「拙於生事拳家」		11-01a	15/377	11/081	07266	04-04b	058	
	④鹿脯(陰寒)帖「陰寒不審太保」		11-01b	15/378	11/081	07266	04-04b	058	
	⑤ a 奉袂帖「辭後明日至宅」/ b 張淑帖「李太保大夫公」		*04b	15/390	16/124	07266	04-03b	057	
	⑥「奏事官至蒙問」		*05a	15/391	16/124	07266	04-03b	057	
	⑦「真卿粗自奉別」		*05a	15/392	16/124	07266	04-04a	057	
	⑧ a「千手贊已領訖」/ b 陝州(疎拙)帖「疎拙抵罪聖慈」		*05b	15/393	16/125	07266	04-04a	057	
	⑨鹿脯後帖「惠及鹿脯甚慰」				*2/*23	*21157	04-04b	058	
	與盧倉曹帖三首								171
	①乍奉辭帖「昨奉辭但增悵」		11-01b	15/379	11/081	07268	04-04b	059	

	②叙本(盧八)帖「盧八倉曹足下」				*2/*24	*21156	04-05a	059	
	③送書帖「足下今日定成」				*2/*24	*21156	04-05a	059	
	与蔡明遠帖二首	759							172
	①蔡明遠(鄱陽)帖「蔡明遠鄱陽人」		11-01b	15/380	11/081	07269	04-05a	059	
	②鄱游帖「閑鄱游与明遠」		11-02a	15/380	11/082	07269	04-05a	059	
	与夫人帖〈附按語〉「真卿頓首奉承」	772	11-02a	15/381	11/082	07273	04-05b	060	172
	寒食(天氣殊未佳)帖「天氣殊未佳汝」		11-03a	15/397	11/082	07278	04-06a	061	
	奉使蔡州書(奉命/蔡州帖)「真卿奉命來此」	783	11-03a 庫19b		11/082	07270	04-07a	062	172
	与澄師(華嚴)帖「真卿承聞大華」		*05b	15/394	16/125	07275	04-06a	060	
	与御史帖「真卿謹別上書」		*06a	15/395	16/125	07267	04-04b	058	171
	与緒汝(守政)帖「政可守不可不」	767	*06a	15/396	16/125	07274	04-06a	060	172
	広平(得示)帖「得示問広平碑」		*06b	15/396	16/125	07276	04-06a	061	
	修書(賊軍)帖「賊軍未平使僕」		*06b	15/398	16/126	07280	04-06b	061	
	中夏帖「真卿頓首中夏」		*06b	15/398	16/126	07279	04-06b	061	
	文殊帖「近作一文殊師」		*06b	15/397	16/126	07277	04-06a	061	
	訊後帖「真卿具前楮訊」		*06a	15/399	16/126	07281	04-06b	061	
	移蔡帖「貞元元年正月」	785	*06a	15/399	16/126	07271	04-07a	062	173
	劉中使(近聞/瀛州)帖「近聞劉中使至」	775			*2/*24	07272	04-05a	059	172
	一行(一得/江淮)帖「真卿一行昨自」				*2/*24	*21158	04-06b	062	
	南來帖「真卿承命南來」				*2/*24	*21159	04-07a	062	
	江外(湖州)帖「江外唯胡州最」				*2/*24	*21160	04-07a	062	
	草篆帖「真卿自南朝來」				*2/*25	*21161	04-07a	062	
序	尚書刑部侍郎贈尚書右僕射孫逖文集序	772	12-01a	11/267	12/087	07283	05-01a	063	173
	懷素上人草書歌序〈附懷素自叙帖〉		12-03a	11/273	12/088	07284	05-02a	065	173
	送劉太冲序	772	12-04a	11/275	12/089	07286	05-03b	067	174
	送辛子序〈附按語、辛旻〉		12-04a	11/277	12/089	07287	05-03b	067	174
	干祿字書序		*02a 庫無し	11/278		<04882			
	世系譜序〈附按語〉	780			*2/*25	07282	05-02b	065	173
	送福建觀察使高寬仁序〈附按語〉	771-			*2/*25	07285	05-03a	066	173
記	謝公碑陰記	773-	11-08a	10/264	11/086	07303	05-20b	101	177
	東方先生畫贊碑陰記〈附按語〉	754	13-01a	12/280	13/091	07299	05-06a	072	175
	鮮于氏離堆記〈鮮于仲通〉	760	13-02a	12/282	13/091	07290	05-06b	073	175
	撫州宝応寺律蔵院戒壇記	769	13-04a	12/288	13/093	07292	05-08b	076	175
	撫州南城県麻姑山仙壇記	771	13-07a	12/295	13/095	07293	05-10a	079	175
	梁吳興太守柳惲西亭記〈附按語〉	777	13-09a	12/301	13/096	07297	05-18b	098	176
	吳興沈氏述祖德記〈沈麟士〉	774	13-10b	12/305	13/097	07295	05-12b	083	176
	乞御書題額恩勅批答碑陰記	774	13-12a	12/308	13/099	07300	05-13a	083	176
	湖州石柱記〈附朱彝尊石柱記序・按語・鄭元慶箋註石柱記自序〉	777	13-13a		*2/*26		05-14a	084	176
	有唐宋州官吏八閩齋會報德記	772	14-01a	13/311	14/101	07294	05-11b	081	175
	通議大夫太子賓客東都副留守雲騎尉贈尚書左僕射博陵崔孝公宅陋室銘記〈附按語、崔沔〉	776	14-04b	13/317	14/103	07296	05-15b	094	176
	撫州宝応寺翻經台記	769	14-10a	13/331	14/107	07291	05-07b	075	175
	張長史十二意筆法記〈附按語〉		14-11b	13/336	14/108	07288	05-04a	068	174
	家廟碑後記	780	庫09a		16/121	*21154	05-20a	100	177
	家廟碑額陰記〈附新唐書儒学伝。困学紀聞・按語〉	780	庫09b		16/122	*21155	05-20a	101	177
	唐故太尉広平文貞公宋公神道碑側記	778	庫12b		16/122	07301	05-19a	099	177
	汎愛寺重修記〈附按語〉				*2/*26	07289	05-05b	072	174
述	項王碑陰述〈附按語〉	777	*03a	10/265	*2/*28	07302	05-20b	101	177
贊	李侍御写真贊〈附按語、李構〉		11-06a	10/266	11/085	07307	06-01a	102	177

	左納言史務滋像贊〈附按語〉				*2/*28	07306	06-01a	102	177	
頌	永字八法頌				*2/*28	07305	06-01b	103	178	
	柳宗元永字八法頌					<11573		104		
弁	蒲塘弁〈附按語〉	766			*2/*29	07308	06-01b	104	178	
題名	華嶽(金天王)廟題名	758	11-06b	10/260	11/085	07309	06-02a	105	178	
	東林寺題名	766	11-07a	10/261	11/085	07310	06-02a	105	178	
	西林寺題名	766	11-07a	10/262	11/085	07311	06-02b	105	178	
	靖居寺題名	768	11-07b	10/263	11/086	07312	06-02b	105	178	
碑銘	天下放生池碑銘	759	04-01a	03/059	04/017	07313	06-03b	107	179	
	湖州烏程縣杼山妙喜寺碑	774	04-03a	03/064	04/018	07314	07-07b	128	180	
	東莞臧氏糾宗碑銘		05-07b	04/126	05/035	07317	07-01a	118	180	
	有唐故中大夫使持節壽州諸軍事壽州刺史上柱國贈太保郭公廟碑銘〈郭敬之〉	764	07-01a	06/161	07/051	07316	06-04b	109	179	
	晉紫虛元君領上真司命南嶽夫人魏夫人仙壇碑銘〈魏華存〉	769	09-01a	08/205	09/065	07323	06-06b	112	179	
	撫州臨川縣井山華姑仙壇碑銘〈黃令微〉	769	09-07a	08/220	09/069	07319	06-09b	116	179	
	浪迹先生元真子張志和碑銘〈附統仙伝・新唐書隱逸伝、張龜齡〉	776	09-09b	08/226	09/070	07321	07-09a	130	180	
	有唐茅山元靖先生広陵李君碑銘〈李含光〉	776	09-11b	08/233	09/072	07320	07-05b	125	180	
	唐故通議大夫行薛王友柱國贈秘書少監國子祭酒太子少保顏君碑銘〈顏惟貞〉	780	庫01a		16/117	07322	07-10b	132	181	
	周太師蜀國公尉遲公廟碑銘〈附金石錄日・按語、尉遲廻〉	738	庫12a			*2/*29	07315	06-03a	106	178
	華蓋山王郭二真君壇碑銘	769				*2/*29	07298	06-11a	117	179
	晉侍中右光祿大夫本州大中正西平靖侯顏公大宗碑銘〈顏含〉	771				*2/*30	07318	07-02a	120	180
	墓碑	有唐開府儀同三司行尚書右丞上柱國贈太尉広平文貞公宋公神道碑銘〈宋璟〉	770	04-06a	03/071	04/020	07335	10-03a	177	183
		唐故開府儀同三司太尉兼侍中河南副元帥都督河南淮南淮西荆南山南東道五節度行營事東都留守上柱國贈太保臨淮武穆王李公神道碑銘〈李光弼〉	764	04-13b	03/092	04/025	07332	08-11b	152	182
河南府參軍贈秘書丞郭君神道碑銘〈郭揆〉		750	05-01a	04/012	05/031	07330	08-01a	137	181	
唐故右武衛將軍贈工部尚書上柱國上蔡景開國侯臧公神道碑銘〈臧懷恪〉		772	05-03b	04/118	05/033	07331	10-01a	174	183	
唐故容州都督兼御史中丞本管經略使元君表墓碑銘〈元結〉		772	05-09b	04/130	05/036	07343	11-02a	190	184	
特進行左金吾衛大將軍上柱國清河郡開國公贈開府儀同三司兼夏州都督康公神道碑銘〈康阿義屈達干〉		766	06-01a	05/139	06/041	07334	09-07a	165	182	
金紫光祿大夫守太子太傅兼宗正卿贈司空上柱國隴西郡開國公李公神道碑銘〈李齊物〉		761	06-06b		06/044	07333	09-03a	160	182	
中散大夫京兆尹漢陽郡太守贈太子少保鮮于公神道碑銘〈鮮于向字仲通〉		767	06-09a	05/150	06/046	07337	09-10a	168	182	
銀青光祿大夫海濱饒房睦台六州刺史上柱國汲郡開國公康使君神道碑銘〈康希範〉		776	07-05a	06/171	07/053	07339	10-08b	185	183	
遊擊將軍左領軍兼商州刺史武閣防禦使上柱國歐陽君神道碑銘〈歐陽雉〉		775	07-08b	06/179	07/056	07338	10-07a	182	183	
朝議大夫贈梁州都督上柱國徐府君神道碑銘〈徐秀〉		770	08-01a	07/186	08/059	07336	09-01a	157	182	
京兆尹御史中丞梓遂杭三州刺史劍南東川節度使杜公神道碑銘〈附按語、杜濟〉		777	08-05a	07/198	08/062	07340	10-10b	187	183	
曹州司法參軍秘書省麗正殿二學士殷君墓碣銘〈殷踐猷〉		770	10-01a	09/244	10/077	07345	11-04b	194	184	
京兆尹兼中丞杭州刺史劍南東川節度使杜公墓誌銘〈杜濟〉		777	10-03b	09/251	10/079	07344	11-03b	193	184	
和政公主神道碑〈附按語〉		764	#庫12a		#16/122 *3/*43	07341	08-08a	147	181	
朝議大夫守華州刺史上柱國贈秘書監顏君神道碑銘〈顏元孫〉		765	#庫12b		#16/122 *3/*47	07325	09-04b	162	182	
杭州錢塘縣丞殷府君夫人顏君神道碣銘〈顏氏号真定〉		777-	#庫10a		*3/*53	07342	11-01a	189	184	
秘書省著作郎夔州都督長史上護軍顏公神道碑〈顏勤礼〉		766-			*2/*35	07324	08-02a	139	181	
撰常山太守衛尉卿兼御史中丞贈太子太保諡忠節京兆顏公神道碑銘〈顏果卿〉		774			*2/*37	07329	08-04b	142	181	

	正議大夫行國子司業上柱國金鄉縣開國男顏府君神道碑銘 〈顏允南〉	769			*3/*41	07326	08-06b	145	181	
	朝議大夫行江陵少尹兼侍御史荊南行軍司馬上柱國顏君神道 碑銘〈顏允臧〉	769			*3/*50	07328	09-12a	171	183	
	左衛率府兵曹參軍賜紫金魚帶顏君神道碑銘〈顏幼輿〉	764			*3/*52	07327	09-13b	173	183	
	橫山廟碑〈附按語〉	771			*3/*55	07304	11-07a	197		
	漢太中大夫東方先生墓碑〈東方朔〉	755				新3935				
	大唐故冠軍將軍左羽林軍大將軍東莞郡開國公上柱國臧府君 墓碑銘并序〈臧懷亮〉	751				新3945				
祭文	祭姪贈贊善大夫季明文	758	10-05a	09/254	10/080	07346	11-06a	196	184	
	祭伯父蒙州刺史文	758	*03b	09/258	16/023	07347	11-06b	196	185	
逸文	(逸文存目)				*3/*56		11-07a	278	185	
詩	題柁山葵亭得暮字〈附按語〉	773	15-01a	14/348	15/111	-07472	12-04a	203	186	
	謝陸処士柁山折青桂花見寄之作〈陸羽〉	773	15-01b	14/350	15/111	-07473	12-04a	203	186	
	登平望橋下作〈附按語〉	776	15-01b	14/351	15/111	-07480	12-04b	204	187	
	登峴山觀李左相石尊聯句〈附按語、李適之〉	773	15-01b	14/351	15/111	-43140	12-06a *01b	205 213	187	
	水堂送諸文士戲贈潘丞聯句〈附按語、潘述〉	773	15-02b	14/355	15/112	-43141	12-07a	207	187	
	送耿湋拾遺聯句	776	15-03a	14/357	15/112	-43144	12-08a	209	188	
	五雜組擬作		15-03b	14/374	15/113	-07477 -43153	12-05a	204	187	
	月夜啜茶聯句〈附按語〉		15-03b	14/359	15/113	-43145	12-08b	209	188	
	重擬五雜組〈附按語〉		15-03b	14/375	15/113	-07478 -43154	12-05b	205	187	
	夜宴詠燈聯句	773	15-04a	14/360	15/113	-43146	12-08b	209	188	
	三言喜皇甫侍御過南樓玩月聯句〈附按語、皇甫曾〉	774	15-04a	14/375	15/113	-43147	12-08b	209	189	
	七言重聯句〈皇甫曾〉	774	15-04a	14/369	15/114	-43148	12-09a	209	189	
	送李侍御聯句〈李構〉	774	15-04b	14/361	15/114	-43149	12-09a	210	189	
	玩初月重遊聯句		15-04b	14/362	15/114	-43150	12-09a	210	189	
	重送橫飛聯句〈附按語、張薦〉	774	15-05a	14/363	15/114	-43151	12-09a	210	189	
	大言聯句		15-05a	14/371	15/114	-43155	12-10a	211	189	
	小言聯句		15-05a	14/371	15/115	-43156	12-10a	211	189	
	樂語聯句		15-05a	14/372	15/115	-43157	12-10a	212	189	
	饒語聯句		15-05b	14/372	15/115	-43158	12-10b	212	190	
	滑語聯句〈附按語〉		15-05b	14/373	15/115	-43159	12-10b	212	190	
	醉語聯句〈附按語〉		15-05b	14/374	15/115	-43159	12-10b *01b	212 214	190	
	夜集聯句		15-06a	14/363	15/115	-43152	12-10a	211	189	
	刻清遠道士詩而繼作〈附清遠道士・李德裕・皮日休・陸龜 蒙・按語〉	771	15-06a	14/367	15/115	-07481	12-01b	200	186	
	使過瑤台寺有懷円寂上人(瑤台帖)	778	15-08a	14/364	15/116	-07479	12-05a	204	187	
	贈僧皎然〈附按語〉	773	15-08b	14/365	15/116	-07475	12-04a	203	187	
	贈裴將軍〈附按語、裴旻〉	772-	*01a	14/347	16/126	-07474	12-01a *01a	199 213	186	
	竹山聯句題潘氏書堂〈附按語〉		庫20b		16/127		12-09b	210	189	
	詠陶淵明		庫20b		16/127	-07476	12-01a *01a	199 213	186	
	水亭詠風聯句〈附按語〉	776			*3/*55	-43142	12-07b	208	188	
	溪館聽蟬聯句〈附按語〉	776			*3/*55	-43143	12-08a	208	188	
	斷句				*3/*55		12-11a	212	190	
	逸詩	(逸詩存目・附按語)				*3/*59		12-11a	280	